

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.10.24~10.28

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

10月24日（月）

トヨタ、HV中国生産
電池・駆動ユニット現地生産

トヨタ自動車は、2015年をめどに、中国でハイブリッド車の一貫生産を始める。電池や駆動ユニットなどを現地生産し、現地の二つの合弁会社で生産する車両に搭載する。（6面）

プラズマTV工場の移転を中止
パナソニック

パナソニックは、上海市のプラズマテレビ・パネル工場の移転計画を中止した。新工場を建設した上でパネルからテレビ組み立てまでの生産体制を構築するはずだった。（8面）

超極細の注射針、中国で販売
インスリン用/テルモ

テルモは、インスリンなどを投与する際に使う注射針として世界で最も細い「ナノパス33」を2012年1月から中国で本格発売する。針の先端径が0.2³mmで、痛みを感じにくい。（13面）

10月25日（火）

粉末冶金部品を増産
自動車部品向け/ファインシンター

ファインシンターは、2012年初をめどに、江蘇省にある粉末冶金部品工場を増



強する。投資額は約10億円。ユニット系部品や足回り系部品などを現地で増産するのに対応する。（5面）

帝人、中国で増産
ポリエステルフィルム/年7万7000^ト

帝人は、広東省でポリエステルフィルムを増産する。厚物・薄物フィルム各1ラインを増設。年産能力は2万7000^トで、現在の同5万^トを同7万7000^トに引き上げる。約59億円投資。（11面）

中国政府系シンクタンクと提携
大和総研/共同研究・人材交流

大和総研は、中国政府のシンクタンクとして影響力がある中国社会科学院と、共同研究や人材交流などに連携して取り

タイ洪水

10月24日（月）

トヨタ、減産3万7500台
ホンダ2輪車工場を再停止

トヨタ自動車は、タイの減産台数は約3万7500台。また、インドネシアなど3カ国で29日まで減産。ホンダのバンコクの2輪車工場も再開したものの、避難準備通告が出たため再停止。（6面）

カーナビ・オーディオ、生産影響
調達部品に在庫不足

カーナビゲーションシステム、カーオーディオを扱うメーカー各社の国内外の生産に影響が出始めている。タイからの調達部品に在庫不足の懸念が発生しているため。（6面）

TV・電話会議を無償提供
日立システムズ/各30社

日立システムズは、タイ洪水の被害にあった日系企業に、国際電話会議サービスとテレビ会議ソフトウェアを無償提供する。ともに先着順で30社。業務再開の手助けで通信手段を確保。（9面）

10月25日（火）

金型、ボートで救出
八海クリエイツ/日本で生産

八海クリエイツは、樹脂部品を製造する工場が2^{カ所}浸水、操業を休止。工場の



2階に上げていた金型をボートを使って搬出。金型を順次日本に送り本社工場で代替生産する予定だ。（3面）

自動車部品、代替生産を開始
日本・タイの別工場活用

タイの日系自動車部品メーカーが代替生産を始めた。三光合成は、ロジアナ工業団地の工場が浸水、日本とタイのアマタナコン工業団地の協力工場で24日から代替生産を始めた。（1面）

トヨタ、日本で生産調整
供給網寸断/減産6000台

トヨタ自動車は、タイの洪水被害の影響でサプライチェーンが途切れたため、24日から28日まで国内の全車両工場の残

業をなくし、稼働時間を調整する。減産台数は6000台。（3面）

電機、部材不足も浮き彫りに
三菱電機、エアコン工場が停止

タイ洪水は、部材不足も浮き彫りになってきた。東芝は半導体工場など8拠点の一部で浸水。三菱電機はエアコン工場が部材不足で停止。日立は4社5拠点が浸水などで操業を停止。（9面）

洪水復旧の「初動」を指南
東京海上日動火災/月内にも講習会

東京海上日動火災は、タイ洪水を受けて月内にも日系企業向けに、災害後の応急処置や段階的な復旧策の情報提供を始める。具体策など優先策の実演講習会を東京都内で月内にも開く。（17面）

10月26日（水）

被災企業に低利融資
政府/設備復旧を支援

政府は、タイ洪水被害の対応策をまとめた。日系企業に対する支援策では、復旧に向けた設備資金や長期の運転資金を対象とする日本政策金融公庫の低利融資制度を新設。（1面）

東芝、HDD代替生産
半導体は兵庫県などで

東芝は、タイ洪水で生産を見合わせているHDDと、特定の機能を持つ個別半導体の代替生産を始めた。フィリピンの工場で2.5^{インチ}HDDを中心に代替生産。半導体は兵庫県などで。（1面）

ホンダ、マレーシアも停止
トヨタ、東南ア3カ国・日本にも

タイ洪水の自動車業界への影響が深刻

ASIA

10月24日（月）

韓国から部品調達で出展
現地商談会/自動車メーカー11社

経済産業省とトヨタ自動車、日産自動車、ホンダなど自動車メーカー11社は、11月1日と2日にソウルで調達商談会を開き、韓国企業からの部品調達を図る。展示商談会に専用ブース。（1面）

バンドー化学、インド新工場
年間700万本体制

バンドー化学は、インドのベンガールのナルサプル工業団地で2輪車・4輪車向けベルト新工場の建設を始めた。既存工場と合わせ年間700万本。スクーターや自動車の生産拡大に対応。（6面）

大幸薬品、台湾に支店
出資販売子会社から体制変更

大幸薬品は、台湾の100%出資販売子会社である大幸薬品股份有限公司を2012年12月に解散する。同時に台湾支店を置き、医薬品や衛生管理製品の販売を引き続き行う。（13面）

10月25日（火）

NTTデータ、越越株40%取得
ベトナム決済サービス市場開拓

NTTデータは、決済サービス事業を展開するベトナムのベトユニオン・オンライン・サービス・コーポレーションの

株式40%を取得した（額は非公表）。現地の決済サービス市場を開拓。（3面）

インド・欧州メーカー製採用
インド生産の特装車車台/極東開発

極東開発工業は、インドで生産する特装車のベースとなるトラック車台に日系メーカー以外の現地や欧州メーカー製を採用し、価格を34割低減する。価格競争力の強化が狙い。（5面）

大光製作所、タイにダイス工場
現地日系向け/月産能力300^ト

大光製作所は、タイ・チョンブリ県にネジ転造用ダイス工場を新設する。2012年1月をめどに稼働。月産能力は300^ト程度で、同社初の海外拠点。顧客がタイで工具類の現地調達に対応。（7面）

タイ・化学大手PTTが出資
植物由来の樹脂/米社

米ネイチャーワークスは、タイの化学大手PTTケミカルの出資を受ける。PTTケミカルが1億5000万^{ドル}を追加出資。出資比率は50%ずつ。タイに新工場建設、植物由来の樹脂を強化。（11面）

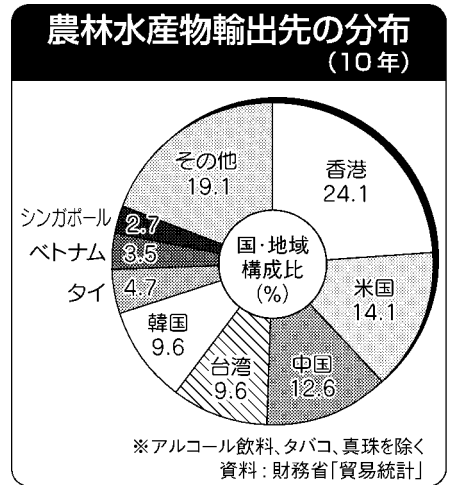
台湾政府の仲介で提携
加治金属/航空機部品を共同受注

加治金属工業は、台湾政府の仲介を受け、航空機部品を手がける現地の中小企業・駐龍精密機械と業務提携した。表面処理などの技術交流や共同受注などで広く連携する。（31面）

10月26日（水）

強い農業へ輸出戦略
アジアに照準/米仏のPR参考

農林水産省は、2012年3月までに、農林水産物・加工食品の輸出戦略を策定す



る。官民一体でアジア、欧米を取り込み、強い農業につなげる。米仏のPR活動を参考に。（2面）

賃金上昇が最大の課題
アジア・オセアニア進出の日系企業

日本貿易振興機構が、アジア・オセアニア進出の日系企業に経営課題を調査。賃金上昇が68.8%（10年は60.5%）で最多。国別では中国、ベトナム、インド進出の80%以上が賃金上昇を指摘。（3面）

住友電工、東南アで生産拡大
ワイハーネス

住友電気工業は、東南アジアで自動車用組み電線（ワイハーネス）の生産を拡大。2012年春にカンボジアに進出。フィリピンも3社目の拠点。ベトナムでも既存会社2社が新工場を建設。（5面）

韓・英・中国語対応のカーナビ
富士通テン/法人向けモデル

富士通テンは、カーナビゲーションシステム「イクリプス」の法人向けモデル

上海など沿岸部を中心とする
不動産ブームも曲がり角（ブルームバーグ）



をけん引してきた輸出が、最大の貿易相手である欧州が低迷。中小企業の倒産も増加。不動産バブルの崩壊も懸念される状況だ。（深層断面＝26面）

カゴメがセントラルキッチン
無錫市/3店舗に供給

カゴメは、無錫市に集中調理場（セントラルキッチン）を建設、2012年5月をめどに移働。無錫で運営する3食堂に、調理済み食品や食材を供給。数年後に周辺で50店舗を展開する計画。（13面）

10月27日（木）

中国でアルマイト処理
中部理化が新工場/月200万个

中部理化は、2012年6月をめどに、浙江省にアルマイト表面処理工場を新設する。自動車のブレーキや変速機などのアルミニウム部品向けで、処理能力は月間200万个。現地調達に対応。（5面）

タイ洪水被害への日本政府の対応(概要)	
短期的な対応	
資金調達の円滑化	
・日系企業や日本本社が現地または国内で資金を借り入れる際の保証・保険（信用保証協会、日本貿易保険、国際協力銀行）	
・設備資金や長期運転資金の調達支援（日本政策金融公庫）	
・民間損害保険会社などとの協力によるタイ国内外向け販売代金回収リスクの低減（日本貿易保険）	
・タイ中央銀行との連携による日本国債を担保としたタイ・バツ資金の供給（日銀）	
生産体制の再構築	
・操業再開までの期間を活用したタイ人技術者の能力向上のための研修事業（海外技術者研修協会）	
中長期的対応	
企業再建・復興・高度化のための人材育成支援	
・工場再稼働に向けた現地技術者の育成支援（国際協力機構、東アジア・ASEAN経済研究センター）	
災害リスクへの対応	
・災害に強い東アジアの構築に関する調査（国際協力機構、東アジア・ASEAN経済研究センター）	

さを増している。ホンダは、マレーシアの4輪車工場を休止。トヨタ自動車の減産はインドネシアなど東南アジア3カ国に加え、日本にも及んだ。（3面）

部品メーカーにも波及
トヨタの国内減産

トヨタ自動車が、タイ洪水の影響で国内すべての車両工場で生産調整に入った

「AVN110MRC」を発売する。外国人の使用を想定し、日本語のほか英語、韓国語、中国語に対応する。（5面）

タイにダイカスト工場
共和鋳造所/月産能力600^ト

共和鋳造所は、タイにアルミダイカスト製品の鋳造工場を新設する。11月着工の予定。金型工場も併設し一貫生産体制。月産能力600^ト。自動車のエンジンやミッション周りの部品。（6面）

OSG、韓国の工場再編
超硬ドリル50%増/タップ15%増

OSGは、2012年をめどに韓国の切削工具工場を集約する。新工場に3拠点を集約して2拠点にする。超硬ドリルを50%増の月産8万本、ネジ切り工具のタップを15%増の同40万本に。（7面）

カラー鋼板、越に製造合併
日鉄住金鋼板と伊藤忠丸紅鉄鋼

日鉄住金鋼板と伊藤忠丸紅鉄鋼は、ベトナム北部で現地企業2社とカラー鋼板の製造会社を設立した。新会社はベトナム北部で年15万16万^トと見込むカラー鋼板市場の3割獲得を狙う。（11面）

10月27日（木）

ダイヘン、印で溶接機を生産
現地仕様機を開発/低価格

ダイヘンは、2015年にもインドに溶接機の生産拠点を新設する。インド拠点では現地部材を活用して低価格にし、市場ニーズに合わせた性能の現地仕様機を開発する。（6面）

堀場、インドネシアに事務所
医用事業を強化/市場調査も

堀場製作所は、インドネシアの南ジャ

大学生の電子設計コンテスト
ルネサス/1万チーム参加

ルネサスエレクトロニクスは、中国の大学生向け電子設計コンテストを開いた。1万チーム参加。大学生組は中国西安電子科技大学。短期大学組では深圳職業技術学院が最高賞。（9面）

10月28日（金）

中国などで環境都市開発
51社参加/温州市・東営市で事業

環境にやさしい都市開発をパッケージにして、中国や東南アジアなどの新興国で展開を目指す「海外エコシティブロジェクト協議会」に51社が参加し発足。温州市と東営市での事業を検討。（3面）

高級服ブランド、中国で展開
ミラ・ショーン/伊藤忠

伊藤忠商事は27日、全世界商標権を保有する高級服ブランド「ミラ・ショーン」の中国展開を本格化する。台湾の商社・盛高貿易と合弁会社を2社設立する契約。5年後に小売り約80億円。（3面）

中国向け低価格製品投入
ミニチュアカップリング/4割抑える

鍋屋バイテックは、中国向け低価格ミニチュアカップリング「ジョーカップリングMJC」を11月に投入する。江蘇省の現地工場で生産する。価格は日本製に比べて34割抑えた。（6面）

有機EL材料の総代理店
KISCO/中国社と契約

KISCOは、中国のアグライアテ

クノロジー&ディベロップメントと有機EL材料の日本総代理店契約を結んだ。有機EL中間体を、KISCOが国内で独占販売する。（13面）

鹿児島県、中国進出を支援
展示会に出展/上海に訪問団

鹿児島県は、県内製造業の中国での販路開拓を支援する。上海の「中国国際工業博覧会」にブースを確保、2社が出展。また訪問団が上海、蘇州、常熟、南京の企業を訪れる。（31面）

ひと
人件費も高騰

「上海ではマンションだけでなく、人件費も高騰している」とフロロコート社長の諏訪部弘さん。フッ素樹脂表面処理加工の工場が現地にある。日本での研修生を募集したが「『働きながら月20万円以上貯金できれば日本にこない』といわれた」と苦笑する。（24日＝30面）

使ってもらうのが喜び

「製造業の発展は工具の発展がなければ始まらない」と強調するのは中国工具メーカー大手の鄭州市ダイヤモンド精密製造総経理の張鳳鳴さん。商社の京二と代理店契約、日本市場の開拓にも力を入れている。「多くの人に使ってもらうのが何よりも喜び」と笑顔。（25日＝7面）

10月28日（金）

工作機械・工具、顧客の復旧支援
支援チーム/専門要員派遣

工作機械・工具各社は、顧客の生産復旧を支援する。ヤマザキマザックはタイとシンガポール、日本による支援チームを編成する。森精機製作所は復旧対応専門要員50人を派遣する。（1面）

金型の補修、10倍超す
フィーサ/被災企業から急増

フィーサの部品生産と金型メンテナンスを手がけるタイ現地法人には、洪水で損傷した金型のメンテナンスが急増。月5件程度だった金型メンテナンスが、洪水後は今月に入りすでに80件。（1面）

トヨタ、日米で減産継続
タイ生産停止1カ月

トヨタ自動車は、タイ洪水によるタイ国内の車両工場の生産停止や日本、北米、ASEAN各地の車両工場における減産を、31日から1週間、継続する。タイの生産停止は約1カ月に。（5面）

ひと
タイー極集中の見直しも

「タイ売上高は10%。洪水の影響で下期に影響が出る可能性」と語るのは丸紅オートモーティブ社長の平松雅之さん。タイの車生産は東南アジアでも突出する。「工場も、労働力も、これ以上無理」との声も出ており、洪水を機にタイー極集中の見直しも進みそう。（28日＝5面）

ナ・キョウエイ・スチール」で製鋼から圧延までの一貫ラインを増設する。鉄筋用棒鋼など年産50万^ト分増える。合計年産95万^ト規模に。（3面）

医療機器システム、タイで実証
NEDO/2件採択

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、先進的医療機器システムの国際共同研究・実証事業を始める。川崎重工と九州大学の2件。両件ともタイでの実証を想定。（6面）

山武、台湾でガスメーター生産
マイコンガスメーター/年7万台

山武は、子会社の金門製作所が台湾企業の永隆工程との合弁会社で家庭用マイコン機能付きガスメーターを生産する。台湾向けに2012年度に7万台。台湾がマイコン搭載を義務付けた。（6面）

タイで食品の異物検査機量産
アンリツ産機/食の安全高まる

アンリツ産機システムは、2012年夏からタイで食品向け異物検査機を量産。重量選別装置の既存拠点を活用。新興国を中心に食の安全ニーズが強まっている。まず、金属検出機を月産10台。（7面）

ひと
地方のインフラ整備

「インドのインフラ開発で、課題は地方の整備だ」と指摘するのは、インドでシン首相の経済諮問委員会委員を務めるスマン・ベリーさん。12億人の60%が地方に住む。地方のインフラ開発が遅れれば「わが国は中国のようになってしまう」と危機感を抱く。（24日＝16面）